

環境法サマースクール

日弁連では、環境法系の法曹を志す全国の法科大学院生をはじめとする学生・受験生のみなさんの学びの場として、また、環境法に携わる実務家の知識・経験の共有の場として、今年も環境法サマースクールを開催します。

◇日時 2023年7月29日(土) 10時55分～16時30分(開場時間:10時40分)
2023年8月19日(土) 10時55分～16時30分(開場時間:10時40分)
※いずれか一方の日程のみの参加も可能です。

◇場所 7月29日: 弁護士会館17階1701会議室及びZoomによるハイブリッド開催
8月19日: 弁護士会館2階クレオBC及びZoomによるハイブリッド開催
※会場定員は各回50名

※感染状況によっては、会場参加を中止し全てオンラインで開催する可能性や会場定員数を変更する可能性があります。

◇参加対象 法科大学院生・卒業生、司法修習生、法学部生、司法試験受験生、弁護士、研究者、自治体及び企業の環境部門担当者 ほか

◇申込方法 下記URL又は右二次元コードから8月13日(日)(※ただし、7月24日から7月29日までの期間は申込ができません。)までに



事前申込制
参加費無料

お申し込みください

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/14smmrsc/summer/>

※申込状況によっては、申込締切前に募集を打ち切る場合があります。

※Zoomによる参加方法は、開催日が近づきましたら、申込みされた方宛てにメールでご案内いたします。

【7月29日(土)開催】

講義① 11時00分～12時30分	気候変動対策としてのカーボン・クレジット取引の課題と展望 宮川 賢司氏(第二東京弁護士会)
12時30分～13時15分	休憩 ※昼食は各自ご用意ください。近隣には物販店・飲食店がありません。
講義② 13時15分～14時45分	日本の環境アセスメントの課題と解決策 ー神宮外苑再開発計画アセスを事例にー(仮称) 原科 幸彦氏(千葉商科大学学長、東京工業大学名誉教授、国際影響評価学会(IIA)元会長)
講義③ 15時00分～16時30分	メガソーラーや大規模風力発電施設による自然環境・生活環境破壊をどう解決するか 室谷 悠子氏(大阪弁護士会、一般財団法人日本熊森協会会長、全国再エネ問題連絡会共同代表)

【8月19日(土)開催】

講義① 11時00分～12時30分	太陽光発電と自治体法務 北村 喜宣氏(上智大学法学部地球環境法学科教授)
12時30分～13時15分	休憩 ※昼食は各自ご用意ください。近隣には物販店・飲食店がありません。
講義② 13時15分～14時45分	鬼怒川水害訴訟・第1審判決 ー最高裁判例分析の重要性ー 鈴木 裕也氏(茨城県弁護士会、鬼怒川水害訴訟弁護団)
講義③ 15時00分～16時30分	環境法を扱う法律家のキャリア形成 一原 雅子氏(日本学術振興会特別研究員、総合地球環境学研究所京都気候変動適応センター外来研究員) 森田 浩輔氏(京都弁護士会) 嶋田 亜由美氏(オーストラリア・ニューサウスウェールズ州弁護士) コーディネーター: 中島 万里氏(愛知県弁護士会)

【個人情報の取扱いについて】

お申込みによりご提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理いたします。
なお、個人情報は、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないような状態で公表することがあります。
以上について同意をいただいた上でお申し込みください。